

教育委員会施策の点検・評価表

<第5次生涯学習推進計画>

施策	10	いつでも、だれでも学べる身近な学習環境の整備	担当課	生涯学習推進センター
----	----	------------------------	-----	------------

1 目的・目標

目的・目標	年齢等に関わらず、市民誰もが生涯を通じて学び続けられるよう学習機会を提供する。また市民の学びあいを通じた交流から生まれるネットワークが、地域課題の解決へと発展していくよう、市民と行政の協働のもと、さまざまな事業を展開していく。
-------	---

2 取組状況と成果と課題

主な取組	立川市民交流大学の市民企画講座・団体企画型講座・行政企画講座の実施などのたちかわ市民交流大学の運営、地域学習館の運営
取組状況	市民の生きがいがいづくりや地域課題の解決につながる学びの創出に向け、地域学習館などを会場とした様々な事業に取り組んだ。運営主体としては、行政をはじめ「たちかわ市民交流大学市民推進委員会」や「地域学習館運営協議会」、さらに「生涯学習指導協力者（市民リーダー）」、サークル、団体等が市民の立場で主体的に学びの企画・運営を担った。平和・人権学習事業については、継続的に取り組むことが重要となり、平成29年度は立川空襲の記録と作成者の講演会を開催した。このほか、生涯学習としての「立川市民科」の開始、社会的ニーズや地域ニーズを捉え実施した障害者理解講座やイベント、子どもの貧困対策につながる夏休みの居場所創出を目的とした事業にも新たに取り組んだ。「たちかわ市民交流大学企画運営委員会」では、市民交流大学全体の事業指針を市民目線での確に示すことを目標に会議運営の効率化を図った。
成果	市民交流大学市民推進委員会は、市民交流大学事業開始から、ともに10年を経過し、市民目線での生涯学習の場の提供主体として、安定した活動がなされ、今後さらに自立した活動が期待される存在となっている。 新たに取り組んだ障害者理解講座とイベント、夏休みの子どもの居場所づくり事業は、好評を得たことから、平成30年度も継続して実施されることになり、今後の事業展開に向けての確実な一歩となった。
課題	自立していく市民推進委員会とのパートナーシップのあり方の再確認、市民リーダーの活用、市民交流大学事業全般については、年齢等に関わらず市民誰もが、生涯に渡り学習機会を享受できる環境を整えていくことが課題である。

3 今後の方向性

今後の方向性	学習機会の提供に引き続き努めるとともに、講座の教ではなく、市民を取り巻く行政課題の把握に努め、市民と一緒に学び考えていくことに重点をおいた講座事業を進めていく。さらに、平成29年3月に改正された社会教育法に沿って、平成30年度より市内全域で取り組む地域学校協働本部事業の中で、地域住民と学校が連携し、子どもたちを育成していくうえでの社会教育と学校教育一体となつて、地域コミュニティの醸成を図る。
--------	---

評価	A	(評価理由) 学習機会の提供では、発足10年目の市民推進委員会が講座の企画・開催を安定的に行ってきた。また、学習館においては、市民を取り巻く行政課題に則した障害者理解講座やイベント、夏休みの子どもの居場所づくりに新たに取り組むなど、内容の充実にも努めたことから、A評価とした。	参	28年度	27年度
			考	A	B

(外部評価委員の評価)

市民推進委員会の活動の安定と成熟が高く評価される。市民交流大学における市民企画・市民参加の割合も高いレベルで維持されていることは、「市民目線」の活動を追求し続けてきた成果であると考えられる。さらに、民間レベルで対応しにくい地域課題や市民活動の学習拠点づくりに注力する必要がある。3つの企画講座を統括する企画運営委員会の機能を強化するためにも、庁内調整委員会が形式的にならぬように、行政企画講座との調整を丁寧に進めるべきである。					
---	--	--	--	--	--

## 【施策の実績】

### 1 成人対象事業

地域学習館などを会場に、市民ニーズをとらえた様々な事業を行った。講座は、たちかわ市民交流大学の行政企画講座として位置づけている。

	件数	日数	延べ参加者数	
高齢者対象事業（寿教室）	9	345	12,202	
社会福祉対応事業（青春学級）	1	77	2,089	
国際化社会への対応事業	12	16	284	
環境問題対応事業	講座	6	14	220
	その他	2	10	-
平和・人権学習事業	講座	11	13	360
	その他	17	49	382
地域活性化事業	講座	34	59	1,318
	その他	4	27	776
家庭教育事業	講座	16	19	321
	その他	-	-	-

※「その他」は、展示や映写のみの映画会、交流事業等。



<寿教室・新年の集い>



<平和・人権 砂川空襲の記録>

### 2 子ども対象事業

豊かな経験を積み、生きる力を育むよう、自然体験、科学あそび、職業体験等を実施した。

講座名	日数	延べ参加者数
おやこ社会科クラブ2017	3	37
高松子ども科学あそび隊'17	8	136
立川宇宙の学校	5	363
春休み16ミリ映画会	2	11
いろいろな仕事のぞいちゃおう！～ドッグトレーナー編	1	17
いろいろな仕事のぞいちゃおう！～幼稚園編	1	34
夏休み工作教室「竹とんぼを作って飛ばそう！」	1	15
夏休み木工教室「竹の花びん作り～ペン立てにもなるよ!!」	1	7
自分でつくろう★楽しい！おいしい！冷やし中華！	1	17
いろいろな仕事のぞいちゃおう！～スイッチ製造工場見学編	1	16
中高生対象講座「ドリーム&マジック 自分の未来は自分でデザインする」	1	13
冬休み16ミリ映画会	1	15
東日本大震災を忘れない「おやこ暗闇ナイト」	1	24
春休み「ソーイング体験」	1	14
春休み「クッキー作り講座」	1	10
合計	29	729

### 3 たちかわ市民交流大学の運営

「生涯学習からはじまるまちづくり・ひとづくり」を目指し、企画運営委員、市民推進委員、地域学習館運営協議会委員、市民リーダーを中心とした市民との協働により、市の講座事業を体系的、総合的に市民に提供していく「たちかわ市民交流大学」の運営を進め、多くの講座を開講し市民に提供した。

特に、市民交流大学事業開始と同時に発足した市民推進委員会は、平成29年度は10年を経過し、節目の年として記念事業的な講座の開催などにも取り組んだ。

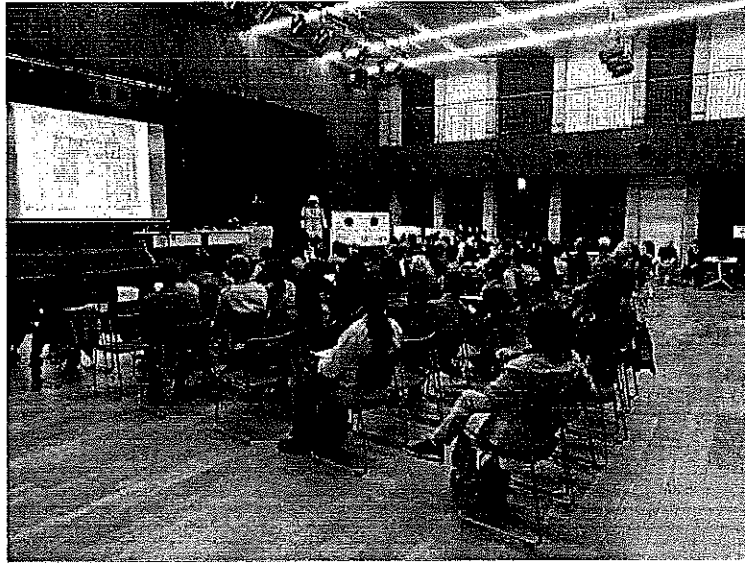
たちかわ市民交流大学講座実施状況

区分	講座数	延べ参加者数
市民企画	62	4,618
団体企画	市民参加	38
	市内機関	1
	計	39
行政企画	市民参加	228
	行政単独	168
	計	396
合計	497	70,819

市民企画講座(企画・運営 市民推進委員会)

講座名	開催 日数	参加者 数
花いっぱいのもちづくりをめざして 第1回バラの育て方	1	15
楽しい植物観察入門1 サクラの世界	1	17
古事記を読もう 第2回	3	80
世界から見た！日本の近代	4	181
楽しい植物観察入門3 散歩が楽しくなる植物観察「東京の公園めぐり」	5	93
楽しい植物観察入門2 高尾山の四季	6	90
地元発見！立川の分水を歩こう！	5	72
春を染める	1	12
森田さんちの癒やしのお庭	1	10
開放された歓び／西洋美術史「ルネサンス」①	6	255
放浪の俳人 山頭火を読む	3	129
これだけは 知っておきたい【続】遺言・遺産相続	1	55
歌手・本田美奈子さんと語る「がんと共に生きる～白血病と向き合いながら～」	1	120
パソコン講座「Excel入門」	11	95
聴覚障害者初のエベレスト登頂～勇気を出せば道は開ける～	1	76
キレイを引き出す色、気持ちに寄り添う色、オンリーワンの魅力を創る色！	3	94
認知症のシグナル(早期発見のポイント)	1	52
【初心者向け農業体験講座】～野菜作りを体験して・楽しく収穫しよう～	5	63
【夏休み自由研究】[お天気のはてな？実験とクイズで学んじやおう]	2	16
クラシック音楽入門講座 第8回	5	180
現代日本の領土ナショナリズムと思いやり予算	1	34
【講演会】にんげんだもの 父相田みつを を語る	1	93
みんなで考えよう、今大切なこと	3	111
銀のストラップ・ペンダントづくりを楽しもう ～自分だけのオリジナルなものを～	3	32
原爆の図・丸木位里と俊	5	63

講座名	開催 日数	参加者 数
変わりゆく葬儀と供養のかたち	1	23
夏を染める	1	24
立川市公民館から70年～多摩の公民館運動からこれからの学習館をさぐる～	1	52
スマホを使って生き生き生活	6	72
”花をより綺麗に撮る” ～人に感動を与える写真への挑戦～	2	22
アンコール・ワットの謎に挑戦	3	77
深海の巨大イカ類 vs マッコウクジラ	1	81
かんたんホームページ作成講座	6	68
ともに学ぶ人間の歴史 おとなの中学社会科	6	128
交通事故犯罪とは何か どう防ぐか～被害実態と予防を考えよう～	2	32
地形・地質と植生	4	93
【講演会】テレビの青春・ウルトラマン誕生のすべて	1	57
映像と語りで伝える～明治・大正・昭和を生きた立川の女性たち～	5	97
日本近現代史に学ぶ ―「今とこれから」	4	159
クラシック音楽レクチャーコンサート	1	74
日本の古典文学を読もう	3	134
【極地研・立川市・市民推進委員会協働企画講座】 ～極域における最新の研究テーマとその成果～	3	137
世界遺産から見た江戸時代	5	129
開放された遊び／西洋美術史「ルネサンス」②	6	213
高齢期の生き甲斐とは～サクセスフル・エイジング(成功加齢)の実践～	3	45
たのしく生ごみ減量 ～家族ぐるみで自然と家庭と社会にやさしい生活～	1	12
秋を染める	1	15
トランプ政権の経済政策と日本	3	37
東京学芸大学生といじめを考えよう	1	10
【講演会】60周年を迎えた南極観測の今	1	78
【極地研・立川市・市民推進委員会協働企画講座】 極域における最新の研究テーマとその成果！	3	111
【立川のお財布を考える】～少子高齢化社会で社会保障・介護保険はどうなるか？？	2	47
冬を染める	1	22
パソコン講座「Word入門」	4	29
―抽象画に親しむ―	3	72
シェイクスピアの魅力ふたたび	1	13
狂言！笑う門には福来る	3	85
東南アジアの植物分布と日本の植物との関連―日本の植物由来を探る―	3	79
ママのリラックス・アロマ講座	3	32
市民交流・クッキング	3	53
ともに学ぶ人間の歴史 おとなの中学社会科	6	155
東京学芸大学生プレゼンツ「自分☆再発見」	1	13
合計	183	4,618



<聴覚障害者初のエベレスト登頂～勇気を出せば道は開ける～>



<深海の巨大イカ類 vs マッコウクジラ>

### (1) 企画運営委員会

企画運営委員会を定期的に開催し、市民交流大学全体の事業の振り返りや課題についての議論などを行った。

委員構成(平成30年3月31日現在)	10名(有識者1,市民推進委員会3,市民団体4,市民公募1,行政1)
会議回数	9回

### (2) 市民推進委員会

市民交流大学の市民参加組織として市民推進委員会を設置している。市民力による市民企画講座を企画・開催し、情報誌「きらり・たちかわ」の協働編集などを行った。

市民推進委員会は、発足から10年を経過し、安定的に講座の企画・運営を行い、市民交流大学事業の講座実施主体の一翼を担っている。

市民企画講座数	62講座
会員数(平成30年3月31日現在)	27名
主な支援内容	交付金の交付、会議の支援、講座会場の提供、講座の企画・運営にあたってのサポート等

### (3) 庁内調整委員会

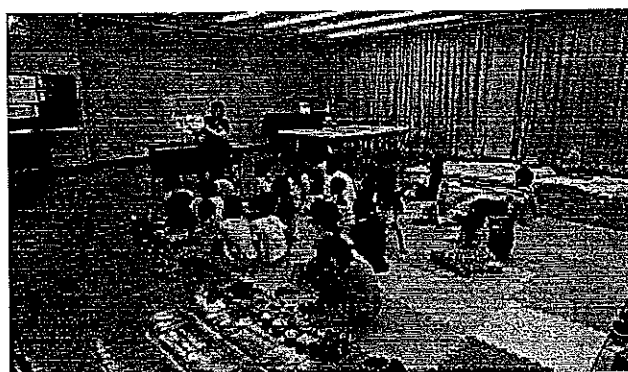
市民交流大学事業における行政企画講座のあり方や市民推進委員会との連携についてを議題として、平成29年度は1回の開催となったが、市民交流大学事業が事業開始以来10年が経過し、その中での行政企画講座の位置づけが不明確であるという課題が浮き彫りとなり、今後の制度見直しの必要性が提起されるに至っている。

## 4 地域学習館の運営

市民との協働による運営を行う組織として、地域学習館運営協議会を設置している。市内設置の6学習館ごとに地域の特色、地域課題の把握を行い、それらを踏まえた講座等の実施を行った。

西砂学習館では、地域の施設の立地条件や新たに市民になった住民が多いことから、「西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう～」と題して、夏休みの子どもの居場所づくりの取組を開始した。

地域学習館運営協議会定例会開催数	64回
施設利用件数	25,471件
施設利用人数	326,553人



<西砂サマーイベント～火曜日は学習館に行こう～>

## 教育委員会施策の点検・評価表

＜第5次生涯学習推進計画＞

施策	11	市民ニーズに合わせた生涯学習情報の提供	担当課	生涯学習推進センター
----	----	---------------------	-----	------------

### 1 目的・目標

目的・目標	市民が、効果的・効率的に学習活動が進められるよう、情報の収集・提供システムの確立と、学習や教育に関する市民への情報の提供と相談できる体制づくりを推進する。また、市内の関連部署や多様な機関とのネットワークを積極的に構築していく。
-------	---

### 2 取組状況と成果と課題

主な取組	情報誌「きらり・たちかわ」の発行、生涯学習出前講座の実施、生涯学習情報コーナーにおける情報提供及び相談事業
取組状況	「広報たちかわ」や市ホームページ、市民交流大学情報誌「きらり・たちかわ」を媒体として、市民交流大学事業として実施する講座や催し物についての情報提供を年間を通して行った。そのほかに市役所におけるパネル展示等による情報提供、市ホームページ内「イベントカレンダー」及び市メールマガジンで情報発信をする等、ICTを活用した生涯学習情報提供にも取り組んだ。特に平成29年度は、創刊10周年を機に、前々年度より、市政アドバイザー制度の活用などで、検討を重ねてきた「きらり・たちかわ」のリニューアルについては、新たに子育て世代の市民編集員を得るなどして、実現した。職員のスキルアップを目的とした研修会を2回開催したほか、障害者理解講座を人事課と協働して開催し、生涯学習推進センター職員も積極的に受講した。このほかに、東京学芸大学で開催された全8回の「コミュニティ学習支援コーディネーター養成講座」を生涯学習推進センター職員2名が受講した。
成果	「きらり・たちかわ」については、平成29年9月発行の秋号より、よりわかりやすく、また、手に取って見てもらえることに視点を置いた紙面のリニューアルを果たした。特に新たに加わった子育て世代の市民編集委員の目線での特集記事や講座受講体験記などは、新鮮であるとともに、新たな読者層へのアピールにもつながり今後の展開に期待が持てる。 東京学芸大学での研修を受講した職員からは、「生涯学習関係の職員だけではなく、多様な職種の受講生と少人数のグループを形成し、その中で自身の日常業務を発表、記録にまとめるという作業を通して、他の人の話を聴くことで自身の課題に気付いたり、人とのコミュニケーションの取り方について学習する機会になった」との報告があり、日常業務において、市民ニーズの把握という場面でのスキルアップにつながる研修であった。
課題	多様な媒体を通じての情報発信だけでなく、特に対市民の場面などでは、伝えたい、伝えなければならない情報をいかに正確に相手に理解してもらえるよう情報発信するかが重要であり、そうした能力を持った職員の育成が欠かせない。

今後の方向性	平成30年4月から施行された「障害がある人もない人も共に暮らしやすいまちをつくる条例」に鑑み、積極的な情報発信とともに具体的な取組を検討する。また、情報発信については、正確性と迅速性が求められることから、ダブルチェックの励行などで常に職員の意識を維持するとともに、業務の手順などを工夫することで、確実な情報発信を行う。さらに、職員のスキルアップについては、研修などを継続して行うことで対応していく。
--------	---

評価	(評価理由) 「きらり・たちかわ」のリニューアルは評価できるが、日常の情報発信については、特に正確性の点で改善の余地がある。職員のスキルアップについても、継続して取り組んでいく必要があることから、B評価とした。	参考	28年度	27年度
			B	A

(外部評価委員の評価)  
 市民交流大学情報誌の新たな編集委員の参加や紙面リニューアル、大学と連携した職員研修の実施は高く評価できる。ただし、SNSによる情報共有が主流となりつつある現在の状況から、新たなメディアを活用した市民との学習情報の相互受発信へのシフトが求められている。行政が情報を発信するだけでなく、市民の情報を活用する工夫も必要である。また、「ダブルチェック」も形式的にならず、業務量を増やさないような工夫が必要である。

## 【施策の実績】

### 1 情報誌「きらり・たちかわ」の発行

市民交流大学全体の講座情報や学習情報、地域情報などを市民に提供し、市民の講座受講の利便性向上などを図るため、市民推進委員との協働により、情報誌「きらり・たちかわ」を四半期ごとに編集・発行した。年4回のうち秋号からは、これまで検討を重ねてきた紙面改善について、完全リニューアルを実施した。

発行	内容
①2017夏号（平成29年 6月20日）	講座ガイド(17' /7~10月), 特集：市民交流大学10周年ほか
②2017秋号（平成29年 9月20日）	講座ガイド(17' /10~18' /1月), 特集：学習館ってどんなところ？ほか
③2017冬号（平成29年12月20日）	講座ガイド(18' /1~4月), 特集：“情熱講座”の舞台裏ほか
④2018春号（平成30年 3月20日）	講座ガイド(18' /4~7月), 特集：私たちが残したいもの伝えたいことほか

各号20ページ、6,000部作成 市役所、地域学習館、学習等供用施設等の市施設及び国等の機関、事業所等に配布

※リニューアルの主な内容

- 講座案内についてテーマごとの表示から月単位、時系列の表示に
- 講座のテーマについてはアイコン（記号）表示として紙面を簡略化
- イラスト・写真を多用した見やすい紙面
- 表紙デザインを子育て世代の編集員が担当

### 2 生涯学習出前講座

市政に関する市民の学習支援と説明責任を果たすことを目的に、市民の要望にあわせ、生涯学習出前講座を実施した。

	平成28年度	平成29年度
開催回数	50回	43回
延べ参加者数	1,192人	936人

### 3 生涯学習に関する情報提供

生涯学習に関する情報を市民に提供し、相談できる窓口として、各学習館のほかに女性総合センター・アイム1階に生涯学習情報コーナーを設置しており、情報提供やさまざまな学習相談に応じている。

特に平成29年度は、3年に一度の社会教育関係団体の登録更新の年であり、その関係の件数が多くなっている。

生涯学習情報コーナーの利用について

(単位：件)

内 容	平成28年度	平成29年度
学習相談	28	21
社会教育関係団体関係	251	112
生涯学習指導協力者（市民リーダー）関係	22	16
施設案内	138	16
その他	204	151
社会教育関係団体登録	75	445
生涯学習指導協力者（市民リーダー）登録	16	6



## 教育委員会施策の点検・評価表

＜第5次生涯学習推進計画＞

施策	12	地域人材と学習施設の有効活用	担当課	生涯学習推進センター
----	----	----------------	-----	------------

### 1 目的・目標

目的・目標	立川市の生涯学習の理念である「生涯学習からはじまるまちづくり」を実現するために、職員には地域力を「引き出し、結び、まとめる」コーディネート力が求められる。また、それぞれの施設の特徴を活かしたうえで、市民の主体的な学びの場として地域学習館、学習等供用施設、歴史民俗資料館等の生涯学習施設を有効活用していく。
-------	--

### 2 取組状況と成果と課題

主な取組	学校支援ボランティア事業、生涯学習指導協力者（市民リーダー）事業、学習等供用施設管理運営事業、歴史民俗資料館事業
取組状況	平成28年度に試行的に開始された地域と学校の連携を継続的に可能とするコーディネーターの配置「学校支援地域本部事業」は、小中学校13校で事業展開した。また、「学校支援ボランティア事業」については、3年目を迎えた。講座事業の一部において、市民リーダーの活用を図った。学習等供用施設については、新たな指定管理期間を迎えるにあたり、より地域に密着した運営・管理が可能となるよう基本協定の改定を行った。また、適正な管理とともに施設整備に努めた。歴史民俗資料館事業では、市内の文化財保護に努めるとともに、その活用に努め、特に市内最古の建造物である阿豆佐味天神社本殿については、条例に基づく補助制度活用により、大々的な修繕工事が開始された。
成果	「学校支援地域本部事業」については、13校にのべ25人のコーディネーターを配置し、学習支援における協力者の確保や地域と学校との連携などの活動が行われた。「学校支援ボランティア事業」については、市民公募により75人のボランティアが登録され、学校からの要請により18校へのべ45人のボランティアを派遣し授業支援等を実施した。講座事業における市民リーダーの活用は、のべ135件となった。学習等供用施設については、基本協定を見直し、改訂することで、備品の管理や修繕がより適正に行われるように改善できた。阿豆佐味天神社本殿については、3か年に渡る修繕工事の初年度として木工事が開始されたが、この建造物の履歴がわかる新たな証拠が発見された。
課題	学習館を含む歴史民俗資料館、学習等供用施設については、これまでの保全計画が保留、見直しとなったことから、今後の施設のあり方や改修が、新たに策定される公共施設再編個別計画の中で、検討されることになった。

### 3 今後の方向性

今後の方向性	学社一体の取組の中で、関連組織との連携も推進していく。「学校支援地域本部事業」は、平成30年度から「地域学校協働本部事業」として市内全校で開始となることから、さらに効果的に制度活用がされるよう努めていく。「学校支援ボランティア事業」については、さらに活用が進み、学校支援の一助となるよう努めていく。 学習等供用施設の改修を、公共施設再編計画の中で検討していく。歴史民俗資料館事業については、施設整備を含め、市史編さんの進捗にあわせた資料の活用と保存スペースの確保について検討を行っていく。
--------	---

### 4 評価

評価	(評価理由) 各事業については、保全計画の保留、見直し以外は、着実に前進していることを評価し、A評価とした。	参考	28年度	27年度
A			A	A

#### (外部評価委員の評価)

「学社一体」型事業が着実に進められていることは高く評価される。とはいえ、数字を追い求める段階から質を高める段階への移行を意識した事業活動が求められている。そのために、国の施策の枠内にとどまらずに市や地域、学校の固有の状況に合わせた活動を保証するための柔軟な判断と、高いレベルでの関係者による継続的なケースワーク会議・研修会が必要である。また、「学社一体」型事業のもとでも社会教育・生涯学習事業が学校支援・家庭支援にとどまらない、市民の活動・学習を支援する本来の役割を持つことにも注意する必要がある。

## 【施策の実績】

### 1 生涯学習指導協力者（市民リーダー）制度

生涯学習活動の支援を市民と協働して進めるため、様々な分野で技術や経験・知識などを有する方に生涯学習指導協力者（市民リーダー）として登録していただき、市民の自主活動や講座などへ講師等としてご協力いただいた。

平成18年度に設立された市民組織「生涯学習市民リーダーの会」は、幹事会を定期開催し「たちかわ市民講師フェア」や「市民リーダー☆みんなの講座」の開催などで、講師としての市民へのPRを行い、派遣件数を増やすことで、市民による市民のための学習機会の提供の推進に寄与した。

	平成28年度	平成29年度
講師派遣件数（各年度末現在）	延べ104件	延べ135件
幹事会開催数	8回	12回

### 2 学習等供用施設管理運営

地域住民の学習活動やコミュニティ活動の拠点として、11の会館の管理運営について、指定管理者制度により各地域の地域住民で構成される管理運営委員会に平成27年度から3カ年の協定を締結し、地域の状況に即した自主的な管理運営が行われた。

	平成28年度	平成29年度
施設利用件数	19,248件	19,223件
施設利用者数	296,305人	296,463人

### 3 学校支援ボランティア事業

地域の皆さんが立川市立小・中学校において学習支援や環境整備などのボランティア活動にご協力いただき、学校と地域が共に子どもを育て、学校の教育活動を支援していただいた。

	平成28年度	平成29年度
学校支援ボランティア登録数（各年度末現在）	63人	75人
学校支援ボランティア派遣市立小中学校数（各年度末現在）	12校（延べ）	18校（延べ）
学校支援ボランティア派遣人数（各年度末現在）	36人（延べ）	52人（延べ）

学校支援ボランティア 支援内容別登録人数（延べ）

（単位：人）

支援内容		平成28年度	平成29年度
授業の支援	教科的指導の補助	40	50
	立川市の歴史・文化（郷土学習）	6	6
	パソコン指導（ICTも含む）	13	17
	クラブ活動・部活動の指導	17	23
	読み聞かせ	21	26
	行事支援	14	24
子どもの支援たち	授業中の見守りや授業支援	35	43
	特別支援教育にかかわる支援	16	24
	遊び相手・話し相手	28	33
	外国語支援	14	17
環境活動整備	校舎・校庭・教室等の整備	13	15
	図書室の整備	17	23
	情報機器（パソコン等）の整備	3	2
その他		6	11



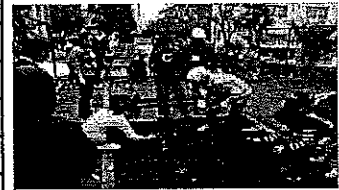
<スタディルーム>

※年度末現在

4 学校支援地域本部事業

「学校」と「地域」が共に子どもを育て、共に地域を創っていく基盤として、地域の皆さんと一緒に学校の教育活動を支援するための取組が「学校支援地域本部事業」。実施校にコーディネーターを配置し、「学校」とそれを支援する「地域」を結びつけていただいた。平成29年度は、市内小中学校13校で実施した。

実 施 校	活動日数		
	学習支援		その他 (環境整備他)
	授業	放課後	
立川第一中学校	0日	17日	0日
立川第三中学校	0日	0日	3日
第三小学校	10日	0日	25日
第七小学校	10日	0日	35日
第六小学校	16日	34日	0日
立川第四中学校	29日	50日	102日
立川第五中学校	0日	29日	137日
立川第六中学校	65日	50日	0日
立川第七中学校	0日	25日	0日
第一小学校	0日	0日	30日
第四小学校	2日	0日	12日
第九小学校	3日	3日	0日
松中小学校	0日	21日	0日



<環境整備・花壇づくり>

学 校	コーディネーター数	学校支援の活動内容	主な学校支援活動の内容	学校支援活動へのコーディネーターの関わり
立川第一中学校	1人	学習支援 (補習支援等)	定期考査前学習会における学習の支援と見守り	・ボランティアの確保 ・ボランティアの調整と連絡
立川第三中学校	5人 (三小・六小・七小のコーディネーターの一部を含む)	授業支援	キャリア教育支援	ゲストティーチャーの調整・手配
		学習支援 (補習支援等)	夏期補習教室の学習支援員の確保	条件に合う学習支援員募集や紹介
		学校行事	立川三中市民科防災の日支援調整、全校意見発表会講評	防災教育に参画する方々の招聘、全校意見発表会への参加
		その他	地域 祭りの打ち合わせ、当日の運営	祭りへの打ち合わせ、当日の手配
立川第三中学校区 第三小学校	2人	授業支援	地域住民による野菜・米づくり教室	ボランティアや環境学習リーダー等との連絡・調整・準備
		環境整備	花壇ボランティア活動	ボランティアの方々との日程調整・作業準備等打ち合わせ
		学校行事	ホテル観賞会	観賞時期の決定打ち合わせ、観賞会準備・当日までの指導及び調整
立川第三中学校区 第七小学校	2人	授業支援	地域住民による野菜・米づくり教室	ボランティアや環境学習リーダー等との連絡・調整・準備
		環境整備	花壇ボランティア活動	ボランティアの方々との日程調整・作業準備等打ち合わせ
		学校行事	ホテル観賞会	観賞時期の決定打ち合わせ、観賞会準備
		その他	PTA行事や今後の活動につながるコーディネート	七小ファミリーカーニバル打ち合わせ・準備・補助指導「たちかわーく」管理者の紹介

第六小学校	5人	学習支援 (補習支援等)	放課後の補習支援	保護者ボランティアへの連絡・調整
		その他	六小学校支援地域本部コーディネータ連絡会(独自のコーディネータ連絡会)	学校とコーディネータの方々で情報交換や報告、意見交換を行うために毎月定例で実施している連絡会に参加
立川第四中学校	1人	授業支援	授業の支援	授業の支援を行うために効率よく行うための調整
		学習支援 (補習支援等)	発展教室・補充教室での学習支援	地域人材の確保・授業の連絡
立川第五中学校	1人	授業支援	体験学習	地域団体との連絡・調整
		学習支援 (補習支援等)	放課後の補習支援の手配・調整	英数国理社の補習教室
		環境整備	図書ボランティア	
立川第六中学校	1人	学習支援 (補習支援等)	チャレンジ教室・スタディールーム	補習教室の運営補助・調整
		登下校安全指導	あいさつ運動見守り	あいさつ運動への参加呼びかけ・調整
立川第七中学校	1人	授業支援	授業の支援(基礎的・基本的な学習の定着)	ボランティアの募集・調整・面接等
		学習支援 (補習支援等)	夏期期間の保健体育の授業支援(水泳指導・配慮を要する生徒の安全)	ボランティアの募集と依頼及び調整
		部活動指導	英語部の活動への支援や顧問の補佐	ボランティアの募集・調整・面接等
第一小学校	3人	その他	地域住民による学習の支援や子どもの居場所作り	柴崎サマー学童、柴崎学童との連携、打ち合わせ、準備、イベント当日の運営
第四小学校	1人	授業支援	授業支援	各学年からの要望に対する連絡・調整
		環境整備	花壇の整備	地域と委員会の花壇整備の連絡・調整
第九小学校	3人	授業支援	授業支援	作業指導や連絡・調整
		環境整備	校内「中庭」整備	校内清掃の連絡・調整
松中小学校	1人	学習支援 (補習支援等)	放課後補習教室・夏期学習指導	支援者調整
		学校行事	運動会児童席テント準備及び設営	地域団体や設営スタッフへの連絡・調整

## 5 職員の研修体制

学習館は地域の身近な生涯学習施設として「人と学び」「人と人」を「結ぶ」地域拠点施設であり、そのためには職員のコーディネート力を高める必要がある。また、具体的な地域課題を学びにつなげる企画力、市民と協働して学びを展開する実践力を研修を通じて養っていく。

平成29年度は、新たに東京学芸大学で開催された全8回に渡る「コミュニティ学習支援コーディネーター要請講座」に市から3人の受講枠を得て、うち2人を生涯学習推進センター職員が受講した。

課内研修の実施	2回
---------	----

## 6 歴史民俗資料館事業

### (1) 体験学習等事業

場所	事業名	(単位：人) 参加者数
歴史民俗資料館	手打ちそば作り (2回)	44
	木の実でハンカチを染めよう (染物体験)	8
	手打ちうどん作りと十五夜飾り	29
	もちつきと鏡餅作り	37
	繭玉飾りと七草粥作り	12
	手打ちうどん作り	33
	草餅作り	31
	多摩川の自然観察	20
	市内文化財散歩「玉川上水を歩く」	20
	市内文化財散歩「立川の古村を歩く」	22
	講演会 武蔵野の開発と玉川上水の分水～立川市域を中心として～	47
	多摩郷土誌フェア関連講演会「中世多摩の歴史と立川文書」	39
	多摩郷土誌フェア関連講演会「西多摩の縄文時代」	39
	多摩郷土誌フェア関連講演会「立川の歴史における多文化共生」	14
古民家園	市指定有形文化財「小林家住宅」屋根葺替え工事見学会	30
	さつま芋収穫体験	35

### (2) 古民家園茶たて事業

開催回数	3回
参加者数	69人

### (3) 展覧会企画展

展覧会名称	内容
企画展	新収蔵品展
	立川の遺跡2017
	立川の水路を探る～玉川上水から緑川まで～
	東京文化財ウィーク2017公開事業「銅鉦鼓展」
	暮らしと道具～昔の生活～
資料館ミニ企画展	端午の節句
	七夕飾り
	写真展「立川駅前の移り変わり」
	写真展「立川の風景と人のいとなみ～未来に伝えたいもの～」
	桃の節句
古民家園ミニ企画展	端午の節句
	七夕飾り
	古民家園屋根葺替え工事写真展
	桃の節句
出張展示	写真展「立川南部の文化財」 (たましん富士見町店)
共催事業等	ニホンゴ探検2017 (国立国語研究所)
	「はた織りまつり」春 (2017)
	「はた織りまつり」夏
	「はた織りまつり」春 (2018)
	協働写真展「立川駅前の移り変わり」 (幸学習館)
小学校出張講座	昔の道具体験 (若葉小学校)
	図工事業支援～染物体験～ (新生小学校)